



次期学習指導要領等に向けた 審議まとめ②

「『深い学び』を実現するための分かりやすく使いやすい学習指導要領」について

1 なぜ改訂されるの？(改訂の基本理念と構造化)

- ・**現場の悩み**：「教科書を全ページ終わらせることに追われる(網羅主義)」「1コマ(50分)で完結させる授業(本時主義)になりがち」という課題がありました。
- ・**改訂のねらい**：1回の授業だけでなく、「単元全体(まとめ)を通してどんな力を育てるか」という全体の構造を可視化(構造化)し、「深い学び」のイメージを掴みやすくします。

2 指導案・評価で迷わない！新しい2つのキー概念

単元のゴール(学びの深まり)を示す指標として、以下の2つが設定されます。

- ・**統合的な理解(知識・技能)**：単なる丸暗記ではなく、「あ、これとこれは繋がっているんだ！」と子供が概念として深く納得・理解した状態のこと。
- ・**総合的な発揮(思考・判断・表現)**：個別の思考パターンをバラバラに使うのではなく、複雑な課題に対して組み合わせて活用している状態のこと。

【**評価のポイント**】…これらは単元の目指す「方角(方向目標)」です。単元末テストの点数やルーブリックでこの指標自体を直接評価する必要はありません。日々の個別の資質・能力を評価した結果として「見取れていることが大切」という扱いになります。

3 「主体的に学習に取り組む態度」の見取り方(学びに向かう力等)

評価観点(特に「主体的に学習に取り組む態度」等)で見取るべきポイントが、表に出る姿(外的側面)と心の根っこ(内的側面)に整理されました。

・外的側面(授業中に行動として見取りやすい姿)

○初発の思考・行動(好奇心)：「やってみたい!」「なんでだろう?」と自ら動き出す姿。

○学びの主体的な調整(自己調整)：「今の自分のやり方で合っているかな?」とメタ認知し、修正する姿。

○他者との対話・協働：友達や先生からのアドバイスを受け入れ、協力して高め合う姿。

・内的側面(学習の根っこ・評価に直接出さない部分)

○人間性：学んだことを自分の人生やよりよい社会のために生かそうとする姿勢。

4 指導要領が「表」になって見やすくなる！(表形式化と学年区分)

- ・**見やすい表形式へ**：文章でズラズラ書かれていた指導要領が、見やすい表(知識・技能と思考・判断・表現が並んだ形など)になります。
- ・**「○学年相当」という柔軟さ**：ガチガチの学年区分ではなく「○学年相当」という表記に変わります。目の前の子供の実態に合わせて、前後の学年の内容に柔軟にアクセスして指導します。

5 ICT・生成 AI 前提の授業づくり（デジタル学習指導要領）

- ・**デジタル指導要領**: Web 上でキーワード検索ができたり、解説資料へ直接リンクしたり、指導案作成時に AI に読み込ませやすくなったりします。
- ・**1人1台端末と AI の指導**: 端末活用は必須（前提）となります。ただし、「AI が出した回答をそのままコピペして提出する」といった抜け道を防ぐ指導が必要です。口頭試問（直接口頭で理由を問う）などの評価上の工夫が求められます。

6 単元計画の作成がラクになる？（単元構想と個に応じた学び）

- ・**単元構想モデルの提示**: 単元計画（単元構想）が立てやすいよう、国や教科書会社が「資質・能力の繋がりを考慮した単元モデル（参考イメージ）」をあらかじめ提示します。
- ・**個に応じた学習過程**: 先生が手を差し伸べる「手厚い指導（教員主語）」だけでなく、子供自身が自分で学習方法やペースを選択・調整する「主体的な学び（学習者主語）」の両方をバランスよく取り入れます。

7 教科の「軸」と「基礎体力」の整理

- ・**見方・考え方**: 単なる指導手順ではなく、「その教科を学ぶことで世の中がどう違って見えてくるか（教科の本質的な面白さ）」として目的を明確化します。
- ・**言語能力がすべての土台**: 思考や対話の基盤となる「言語能力（言葉の力）」を最優先の基礎とします。「情報活用能力」は IT ツール活用に特化させ、「問題発見・解決能力」は各教科の探究プロセス全体の中で育てる位置付けになります。

8 明日の授業からできる工夫（「内化」と「外化」の往還）

- ・**「外化（表現する）」を意識する**: 授業で教科書を読んだり話を聞いたりする（内化）だけで終わらせず、「書く」「話す」「作る」といった「外化（アウトプット）」活動を必ずセットにします。
- ・**身体化（定着）を促す**: 自分の言葉で表現（外化）して友達と共有することで、初めて知識が自分のもの（身体化・意味理解）として深く定着します。単元の最後には、論述やレポート、作品制作など「外化」を伴う課題を設定するのが効果的です。

次期学習指導要領等に向けた**審議のまとめについて（報告）**、「『深い学び』を実現するための分かりやすく使いやすい学習指導要領」の概要をまとめています。**2028 年度から移行期間**となります。おおまかにつかんでおくことが大切です。詳しい内容につきましては、**文部科学省のホームページ**でご確認ください。